

	三重労働局労働基準部安全衛生課		
担 当	課長	伊藤	勲
	課長補佐	鍋島	猪一郎
	TEL	059-226-2107	
	FAX	059-226-2117	

平成21年の三重労働局管内における 労働災害の発生状況（速報）について

・死亡者数、過去最少（年間20名を下回る）

1 死亡者数【速報値】について

平成21年(1月～12月)12月末現在、速報値で労働災害による死亡者数は18人、前年に比べ6人減少し、統計を取り始めて以来最も少なくなった（初めて20人を下回った）。

業種としては、製造業が7人(対前年比1人増)、第三次産業が6人(対前年比2人増)が上位を占めている。

最も大きく減少したのは、対前年比6人減少した建設業で3人であった。

事故の型として最も多いのは墜落・転落で9人(対前年比4人増)、次いで、はさまれ・巻き込まれが2人(対前年比1人減)、交通事故が2人(対前年比5人減)であった。

2 死傷者数(休業4日以上)【速報値】について

平成21年(1月～12月)の12月末現在、速報値で労働災害による休業4日以上の死傷者数は2,019人、前年の同時期に比べ258人(対前年比11.3%)減少した。

休業4日以上の死傷者数は、一昨年(平成20年)より減少に転じた。

業種別にみると、製造業が580人（対前年比205人、26.1%減）、建設業が293人（対前年比44人、13.1%減）、運輸業267人（対前年比8人、2.9%減）、第三次産業では730人（対前年比6人、0.8%減）となった。

全体が減少に転じる中、増加した業種は、保健衛生業が前年より30人増加（26.8%増）の142人、林業が17人増加（21.5%増）の96人、食料品製造業が16人増加（12.3%増）の146人などとなった。

事故の型としては、転倒（375人）、墜落・転落（355人）、はさまれ・巻き込まれ（286人）の順に多く、この三つの事故の型で全体の約半数（50.3%）を占めている。

3 三重労働局の取組について

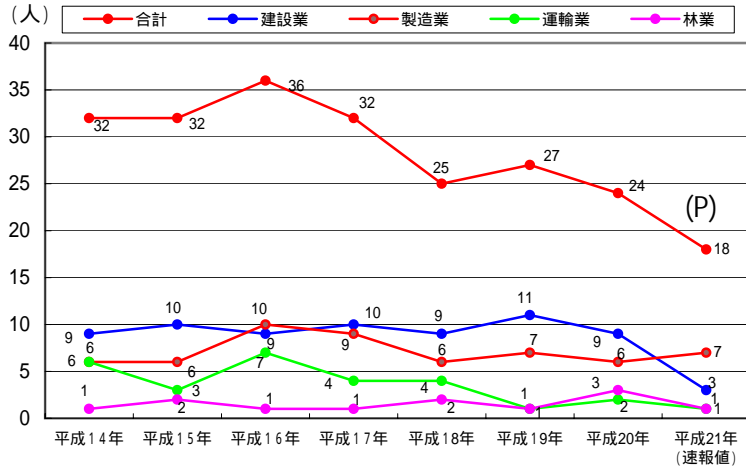
災害発生件数の多い製造業、建設業、運輸業等の労働災害防止対策を推進するとともに、リスクアセスメントが労働災害の防止に有効な手法であることからその普及促進を重点として引き続き進めていく。

また、平成21年に改正された足場の安全基準の周知、徹底に努めていく。

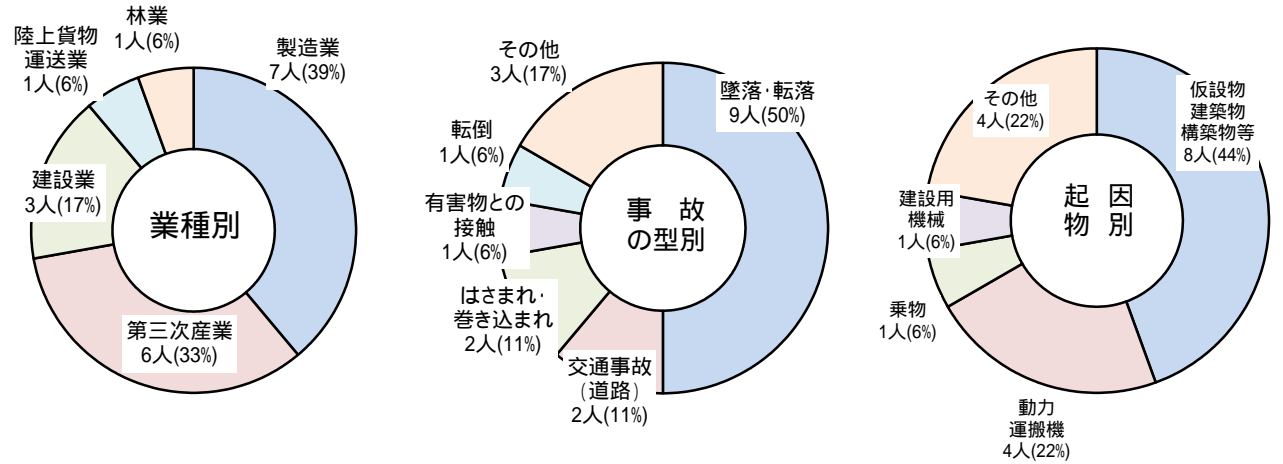
リスクアセスメント：平成18年4月施行の改正労働安全衛生法において
努力義務とされた危険性又は有害性等の調査等の
措置のこと。

平成21年 労働災害発生状況（速報値）

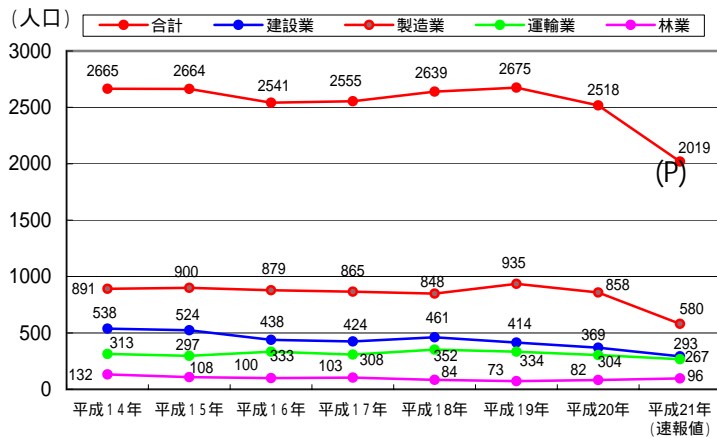
業種別死亡災害発生状況の推移



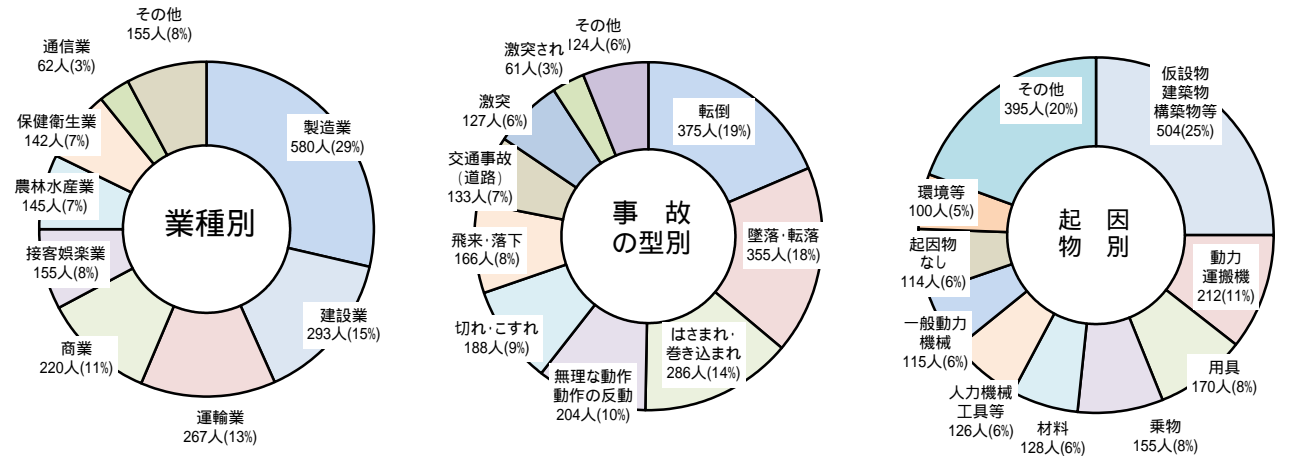
平成21年の死亡災害発生状況(18人)



業種別労働災害発生状況の推移
(休業4日以上之死傷者)



平成21年の休業4日以上之死傷災害発生状況(2019人)



(平成21年12月末日現在)